

塚本一郎・金子郁容編著『ソーシャルインパクト・ボンドとは何か』（ミネルヴァ書房）
出版記念講演会

この度、インパクト投資や公民連携（成果報酬型公契約）の新潮流として世界的に注目されているソーシャルインパクト・ボンド（social impact bond: SIB）について、国内で初めて学術的かつ体系的にその意義と課題について論じた著書『ソーシャルインパクト・ボンドとは何かーファイナンスによる社会イノベーションの可能性』（塚本一郎・金子郁容編著）をミネルヴァ書房より刊行することとなりました。

明治大学非営利・公共経営研究所が文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（大型研究）（2014～2018 年度）の研究助成を受けて実施した海外調査等（英国、米国）の成果を踏まえ、経済学、社会学、経営学、会計学、政治学、ファイナンス等、多様な分野の 10 名の研究者が学際的に SIB の意義や課題にアプローチしています。

この『ソーシャルインパクト・ボンドとは何か』の出版を記念して、12 月 12 日（月）に明治大学におきまして出版記念講演会を開催します。主催は大型研究の研究組織である明治大学非営利・公共経営研究所、協賛は、特定非営利活動法人シビル NPO 連携プラットフォームです。

著書の内容を踏まえ、英米の SIB の最新動向、ソーシャルファイナンスの最新動向（日本国内の動向も含め）、そして、ゴールドマン・サックス証券株式会社が資金提供（寄付）し、社会福祉法人たすけあい・ゆい（サービス実施）、公社研（中間支援）（インパクト評価）、横浜市が連携して先月末から開始された子供の貧困対策プロジェクト（子ども食堂、居場所づくり、学習支援）に関する社会的インパクト評価モデル事業のねらいや概要についても報告します。

パネルディスカッションでは執筆者が登壇し、日本における SIB 導入に向けた課題について議論し、フロアーとも意見交換を行います。

ご関心がありましたら、ぜひご出席ください。参加費は無料ですが、**事前申し込みが必要となります。**

なお当日は実際に本の内容をみてみたい、読んでみたい方のために、ミネルヴァ書房による書籍販売も行われる予定です（本体価格 3500 円を 3000 円【税込み】で販売。ただし、当日販売すること自体を目的とした講演会ではありません）。

SIB は、若年無業、子供の貧困対策、高齢者の健康改善等、社会的プログラムの運営資金を公財政からではなく、民間投資資金から調達し、成果（アウトカム）指標を共有する投資家、サービス実施団体（NPO、社会的企業等）、政府（国、自治体）、中間支援組織等が、介入・予防サービスを実施する公民連携スキーム。金融の仕組みを活用しつつアウトカム改善と財政支出の適正化を同時にめざすスキームで、インパクト評価により目標水準の達成が認められると、政府から投資家に対し一定のリターンが支払われる。アウトカム（成果）ベースの公契約システムで PbR（Payment by Results）の一種

塚本一郎・金子郁容編著『ソーシャルインパクト・ボンドとは何か』（ミネルヴァ書房）出版記念講演会

■日時：12月12日（月）18:00-20:00 (17:30 受付開始)

→当日の進行（予定）

（敬称略）

18:00-18:20（20分）SIBの世界的動向-英国と米国:塚本一郎（明治大学経営学部教授）、吉岡貴之（岡山大学准教授）

18:20-18:35:（15分）世界におけるソーシャルファイナンスの動向:金子郁容（明治大学経営学部特任講師、慶應義塾大学名誉教授）

18:35-18:45（10分）横浜市の子供の貧困対策インパクト評価モデル事業について:塚本一郎

18:50-20:00（70分）パネルディスカッション:日本におけるSIB導入に向けた課題）及びフロアとの質疑:

☞パネリスト:金子郁容、馬場英朗（関西大学商学部教授）、関正雄（明治大学経営学部特任准教授、損保ジャパン日本興亜CSR室シニアアドバイザー）、高木麻美（新日本有限責任監査法人）、吉岡貴之、塚本一郎

■会場:明治大学駿河台キャンパス リバティタワー 8階 1085教室

*エレベーターは奇数階にしか止まりませんので、7階か9階で、エスカレーターにお乗り換えください。

http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html

■定員:80名（定員に達し次第、締め切らせていただきます）

■参加費:無料

■参加申し込み:下記の非営利・公共経営研究所のメールアドレス宛に、「12/12 SIB 講演会申し込み」と件名を記載し、メール本文に「氏名」「所属等」「連絡可能なメールアドレス」を明記の上、お申込みください。

→明治大学非営利・公共経営研究所 E-mail: inpms@meiji.ac.jp

■主催:明治大学非営利・公共経営研究所 <http://www.kisc.meiji.ac.jp/~inpms/>

■協賛:特定非営利活動法人シビルNPO連携プラットフォーム

■協力:株式会社公共経営・社会戦略研究所 <http://koshaken.pmssi.co.jp/>



■JR中央線・総武線、東京メトロ丸の内線／御茶ノ水駅 下車徒歩約3分

■東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅 下車徒歩約5分

■都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線／神保町駅 下車徒歩約5分

【参考】

■執筆者

塚本一郎（明治大学経営学部教授）

金子郁容（明治大学経営学部特任講師、慶應義塾大学名誉教授）

関正雄（明治大学特任准教授、

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 CSR 室シニアアドバイザー）

西村万里子（明治学院大学法学部教授）

高木麻美（新日本有限責任監査法人パブリック・アフェアーズグループマネージャー）

吉岡貴之（明治大学グローバル・ディスカバリー・プログラム准教授）

遠藤知子（大阪大学大学院人間科学研究科講師）

森利博（立命館大学大学院経営管理研究科教授）

今村肇（東洋大学経済学部総合政策学科教授）

馬場英朗（関西大学商学部教授）

■目次

序章 ソーシャルインパクト・ボンドの社会的意義（塚本）

第1章 社会貢献債券とインパクトインベストメント（関）

第2章 ソーシャルインパクト・ボンドとは何か（塚本・西村）

第3章 PFI とソーシャルインパクト・ボンド（高木）

第4章 ソーシャルインパクト・ボンド推進における政府・中間支援組織・投資家の役割（金子）

第5章 ロンドン・ホームレス SIB プロジェクト（吉岡）

第6章 医療・健康分野における SIB プロジェクト（遠藤）

第7章 ニューヨーク市ライカーズ島 SIB の事例（森）

第8章 ユタ州プリスクールサービス SIB プロジェクト（吉岡）

第9章 ニューヨーク州雇用促進・再犯防止 SIB プロジェクト（吉岡）

第10章 SIB 推進における NPO・社会的企業の可能性と課題（今村）

第11章 ソーシャルインパクト・ボンドにおけるインパクト評価（馬場）

事例編：英国内閣府 SIB センター（英国内閣府社会的投資・金融チーム）/ ビッグソサエティ・キャピタル/ブリッジズ・ベンチャーズ/イツツ・オール・アバウト・ミー/ ハーバード大学ケネディスクール・ガバメントパフォーマンスラボ